

第6次芦屋町総合振興計画後期基本計画策定に係る

トップヒアリング結果報告

1 トップヒアリングの目的

第6次芦屋町総合振興計画後期基本計画を策定するにあたり、町長の思いや町の課題、重点的に取り組むべき事項などを確認する。

2 実施概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 実施日時 | 令和7年7月23日（水）10：00～10：45 |
| (2) 出席者 | 回答者：波多野町長、中西副町長
質問者：委託事業者（復建調査設計株式会社）
本郷企画政策課長、矢野企画係長、山崎 |
| (3) 実施方法 | 対面インタビューで実施 |

3 質問項目

①前期基本計画について

(1) 前期基本計画を評価するにあたり昨年度（令和 6 年度）実施したコミュニティ活動状況調査では、令和元年度と比較し、多くの項目で満足度が上昇するという結果になりました。また、現在前期の評価の取りまとめ中にはなりますが、給食費補助制度の実現やコロナ・物価高騰に対する独自支援策の充実などに取り組んだ一方で、芦屋港のレジャー港化や旧中央病院跡地の検討など計画どおりに進まなかったものもあります。こうした中で、前期期間中の評価をどのようにお考えですか。

回答例) 満足、概ね満足、不満 など

(評価を確認した後) その理由をお聞かせください。

(2) 前期基本計画では、特に「人づくり」を新たな施策として取り組むこととしましたが、「人づくり」に関しての評価はどのようにお考えですか？

(評価を確認した後) 後期基本計画の策定にあたって、「人づくり」に関して、重点的に取り組むべき事項があれば、お聞かせください。

②後期計画の策定に向けて

(1) 前期計画では、海（自然）や芦屋釜をキーワードとしていたと聞いています。この 2 つは、引き続き芦屋町にとって重要な資源になると思いますが、後期基本計画も同様に重要な資源としてまとめていく方向でよろしいでしょうか？

(意見を伺った後) 具体的に、どのように活用していきたいなどありましたらお聞かせください。

(2) 「人づくり」「海」「芦屋釜」などについてご意見を伺いましたが、それ以外に必要と考える取り組みや特に力を入れたい取り組みがありましたらお聞かせください。

●確認事項

今回の後期基本計画の策定では、P26.27 の右側「主要施策」部分の見直しを検討しています。

左側「基本構想」部分については、変更は不要とのお考えでよろしいでしょうか。

4 実施報告

①前期基本計画について

(1) 第6次芦屋町総合振興計画前期期間中の評価・課題について

項目	内容
前期基本計画の評価	・ 計画された取り組みは概ね実施できている。 ・ ハード面の整備は比較的進められたが、ソフト面の施策が十分に展開できていない。
前期基本計画の課題	・ 各種整備や補助制度は充実しているものの、周知や広報活動が不十分と指摘を受けることがある。

(2) 「人づくり」に関する評価・課題について

項目	内容
人づくりの評価	・ こどもに対する取り組みは進めているが、大人を対象とした施策が不足している。 ・ 職員の先進地視察研修制度が十分に活用されていない。
人づくりの課題	・ 人づくりについては、引き続き全課で取り組むべき課題である。 ・ PTA 活動の関わりから老人クラブの活動が始めるまでが、空白の期間となり活動が途切れることが多い。 ・ 様々な分野で横のつながりを持ち、人づくりの取り組みを体系的にまとめることで、各担当課が取り組む課題が明確になるのではないか。 ・ 職員の意識改革は重要であり、町民力・地域力・職員力のそれぞれの能力を発揮してもらいたい。

②後期計画の策定に向けて

(1) 芦屋町の資源について

項目	内容
海	・ 芦屋町には砂浜、釣り場、海水浴場、砂像がある。特に、砂像は芦屋町独自の資源である。
芦屋釜及び釜の里	・ 芦屋釜及び釜の里はオンリーワンの事業である。効果的な情報発信により、他自治体とのまちづくりにおける差別化を図る必要がある。 ・ 芦屋釜単体の取り組みではなく、国際的にも注目されている八女茶とのコラボレーションなどできないか。
その他	・ 芦屋町にはサイクリングルートの特長があり地理的優位性もあるため、これを活用すべきである。観光の視点だけでなく、健康づくりなどとの連携も重要である。 ・ 「食」は重要な視点となる。

(2) 理事者の思い

項目	内容
町長	・ 職員には、目指すべきまちの姿を意識してもらいたい。
副町長	・ あらゆる分野において活力を感じられるまちづくりを目指したい。